多久市在宅介護支援センター

天寿荘だより

令和 3年 6月号 №364

梅雨の季節になりました。洗濯物も乾かず、うっとうしい毎日が続いています。
さて、高齢者の3大事故では、「転倒」「窒息」「ヒートショック」があげられます。そこで、今回は「転倒事故」についてお知らせします。

【 5月の活動件数 69件】

●申請手続き代行

・配食サービス・見守り事業	0件
・生活管理指導員派遣	0件
・生活管理短期宿泊	0件
・緊急通報システム	0件
・紙おむつ支給申請	0件

●訪問・相談業務

・高齢者実態把握	0件
・医療・介護に関すること	61件
・その他	8件

介護や生活の上でお困りのことがあれば、
いつでもご相談ください。

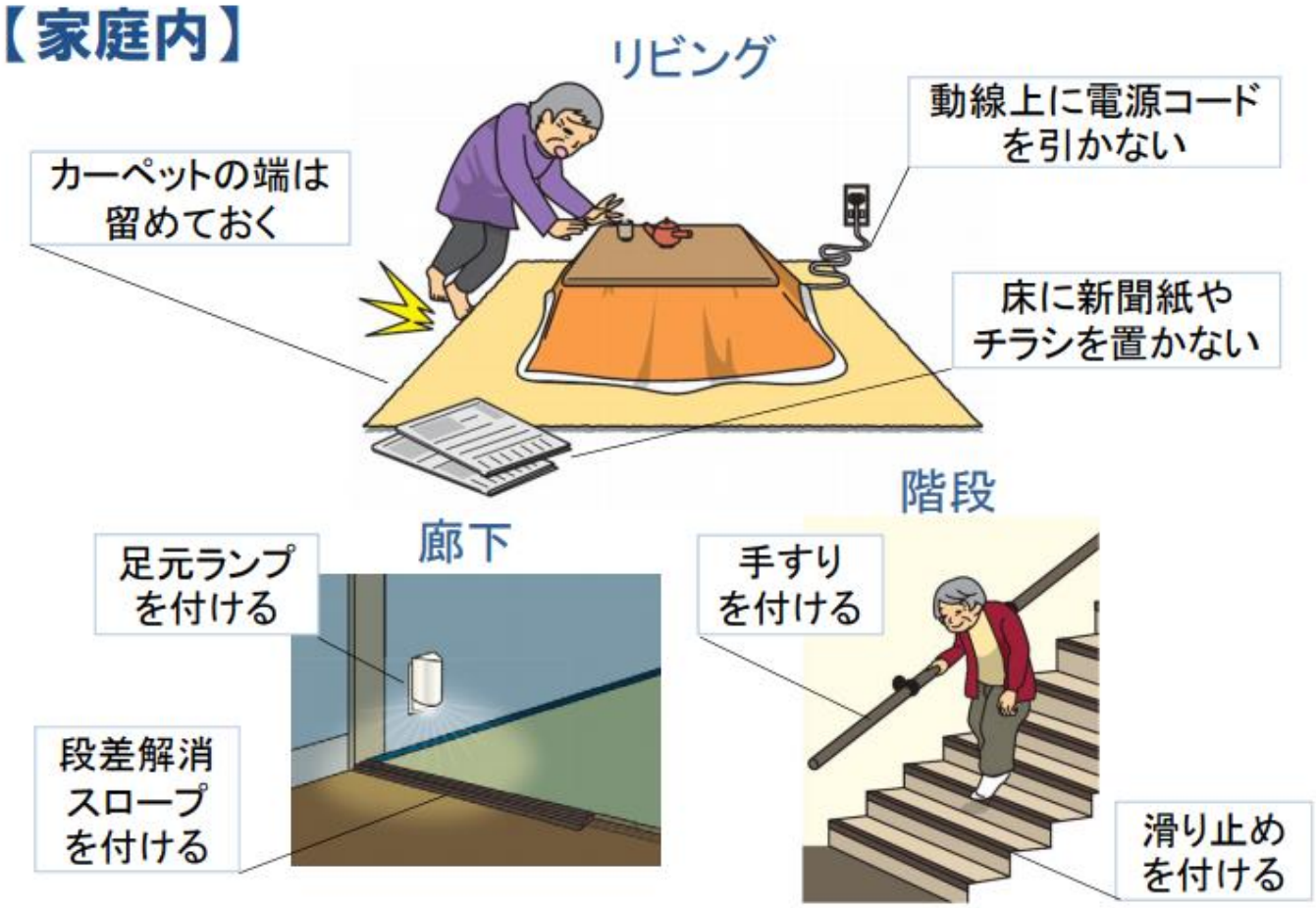
天寿荘 電話74－3100
天寿荘在宅介護支援センター 直通74－4818
坂井賢一 村島勲 尾形ひとみ 納富敦子

天寿荘居宅介護支援サービス事業所便り

はつらつ

令和 3年 6月号 №171

＜ 転倒・転落事故を防ぐために ＞



資料：消費者庁「みんなで防ごう高齢者の事故リーフレット」より引用

高齢になると、転倒・転落のリスクが高まる事が指摘されています。まず、筋力が衰えるため、わずかな段差でもつまずいて転倒事故を起こしやすくなります。姿勢を保持する平衡感覚も低下するので、階段や脚立等の高い場所からの転倒事故も起こりやすくなります。また、老眼や白内障などの影響で視力が低下すると、足元が見えにくく障害物に気づきにくいため、転倒・転落のリスクが高まります。さらに、高齢者は、脳卒中の後遺症、認知症等の疾患や、服用している医薬品の副作用によって、ふらつきやたちくらみをおこしやすくなります。